

ふれあいの心がつまっています。

ほけつと

2025 SUMMER
第146号

野木町社協情報誌 NOGI-TOWN POCKET

この情報誌は、一部赤い羽根共同募金配分金により発行しています。



えんじゅクラブ野木 パタンク大会(5/21)

優勝 潤島福寿会 A
準優勝 友沼川西福寿会 B
3位 友沼下中寿会 B

目次

- P2 令和6年度
野木町社会福祉協議会事業報告
- P3 令和6年度
野木町社会福祉協議会決算報告
善意の寄付
- P4 えんじゅクラブ通信
みつけた!地域のつながり[®]

- P5 地域ふくし座談会の参加者募集
みなさんの活動を載せませんか?
簡単!身体年齢テスト
- P6 令和7年度ボランティア全体会・全体研修会の報告
- P7 ふれあい福祉総合相談
おれんじカフェ
エンディングノートの配布
- P8 小学生チャレンジスクール&
ボランティアサマースクールの参加者募集

令和6年度事業報告

マークの事業は一部共同募金の配分金を受けて事業を実施しています。

法人運営

- (1) 理事会3回開催、評議員会2回開催、監査会1回開催
評議員選任・解任委員会2回開催
- (2) 会員増強推進

会員数(寄付含)	6,076世帯	金額	2,980,620円
賛助会員数	16事業所	金額	95,000円
- (3) 善意の寄付

金品	28件	877,047円
物品	10件	

第2期野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗管理

- (1) 野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会 1回開催
- (2) 地域ふくし座談会 1回開催

ふれあい福祉総合相談

- (1) 総合相談

心配ごと相談	3件	法律相談	48件
介護・高齢者相談	247件		

ボランティア活動

- (1) ボランティアの登録 11団体 個人 50名
- (2) ホームページの開設
- (3) ボランティア保険加入数

活動保険	482名	行事保険	1,940名
------	------	------	--------
- (4) 学童・生徒のボランティア活動普及事業の推進
 - ① 小学生ボランティアスクールの開催(7/23~7/25)
 - ② ボランティアサマースクールの開催(8/19~8/23)
 - ③ 福祉教育推進連絡会議の開催 3回
 - ④ 地域福祉新聞の発刊 1回
 - ⑤ 学校における福祉教育支援活動 15回
- (5) ボランティア活動の支援

① 傾聴ボランティア養成講座	全6回
② 手話講座	全3回
③ 朗読講座	全5回
④ 福祉教育ボランティア講座	全3回

地域福祉啓発活動

- (1) ふくしのつどい 来場者343名
- (2) 社協情報誌「ばけっと」の発刊 年4回

在宅福祉サービス事業

- (1) 配食サービス事業

配食数	2,313食	配食ボランティア数	39名
-----	--------	-----------	-----
- (2) 外出支援サービス事業 移送回数 17回
- (3) 福祉機器(車いす)貸出事業 貸出件数 81回
- (4) 災害時における支援活動・災害ボランティアセンター設置に係る整備
 - ① 被災地の災害ボランティアセンター運営支援
石川県輪島市(4/28~5/4、6/15~6/21)
 - ② 災害ボランティアセンター設置・運営訓練(10/6)
 - ③ 野木町災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの改訂
 - ④ 野木町社協職員災害対応マニュアルの改訂
 - ⑤ 災害ボランティア活動ガイドブックの改訂
 - ⑥ 事業継続計画(災害時及び感染症版)の改訂
 - ⑦ 災害ボランティアセンター運営に関する研修会への参加
 - ⑧ 県境4市町社協の災害支援担当職員の定期的情報交換会の開催(年3回)
 - ⑨ StockYardのぎの周知

居宅介護支援事業

- (1) 居宅介護支援事業(ケアプラン作成) 1,561件
- (2) 要介護認定調査 1件

地域包括支援センター事業

- (1) 総合相談支援 4,777件
- (2) 介護支援専門員定例ケア会議の開催 4回
- (3) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント 4,031件
- (4) 出張講座の開催 26回(430名)
- (5) エンディングノート「結び帳」の配布 634冊

生活支援体制整備事業

- (1) 生活支援コーディネーター(第1層、第2層)の設置
- (2) 生活支援体制整備事業「協議体」会議 1回開催
- (3) 地域支え合い会議 2回開催
- (4) 地域支援活動の担い手育成講座(3/5)
- (5) ふれあいサービス(住民参加型在宅福祉サービス)事業 256件

高齢者福祉の推進

- (1) ひとりぐらし高齢者の交流事業 1回
- (2) 高齢者と子どもの交流事業 2回
- (3) 老人パタンク・老人レクリエーション大会の開催
- (4) スマホ教室の開催 5回

障がい児・者福祉の推進

- (1) 視覚障がい者朗読CDの作成と貸出

生活支援・資金貸付事業

- (1) 日常生活自立支援(あすてらす) 369回
- (2) 生活福祉資金特別貸付フォローアップ支援 245件
- (3) 社会福祉金庫貸付 21件
- (4) 地域(子ども)ふくし・思いやりプロジェクト 2回
- (5) フードドライブ事業の実施 60件

法人後見事業

- (1) 司法書士による成年後見に関する個別相談会 2回開催
- (2) 成年後見普及啓発講演会 1回開催

老人福祉センター(ホープ館)の管理運営

- (1) 老人福祉センター利用者数 20,564名
- (2) 講座等の開催 4講座 53回

デマンド交通「キラ輪号」の運行

- (1) 新規登録者数 208名
- (2) 利用者数 10,181名

日本赤十字社活動と共同募金活動

- (1) 日本赤十字社栃木県支部野木町区分事務局
 - ① 日本赤十字社員募集(5月)
募金総額 3,038,955円
 - ② 災害等による被災地への義援金等の受付
義援金総額 233,165円
- (2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局
 - ① 赤い羽根共同募金運動(10月)
募金総額 2,663,886円

令和6年度 決算報告

資金収支計算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(単位:円)

事業活動収入	187,916,177
事業活動支出	185,344,586
事業活動資金収支差額	2,571,591
施設整備等収入	0
施設整備等支出	809,220
施設整備等資金収支差額	△ 809,220
その他の活動収入	5,000,000
その他の活動支出	6,565,922
その他の活動資金収支差額	△ 1,565,922
予備費支出	0
当期資金収支差額	196,449
前期末支払資金残高	13,296,331
当期末支払資金残高	13,492,780

事業活動収支計算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

(単位:円)

サービス活動収益	187,689,683
サービス活動費用	196,782,975
サービス活動増減差額	△ 9,093,292
サービス活動外収益	146,494
サービス活動外費用	54,060
サービス活動外増減差額	92,434
経常増減差額	△ 9,000,858
特別収益	0
特別費用	0
特別増減差額	0
当期活動増減差額	△ 9,000,858
前期繰越活動増減差額	7,992,552
当期末繰越活動増減差額	△ 1,008,306
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	5,000,000
その他の積立金積立額	14,536
次期繰越活動増減差額	3,977,158

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	26,526,494	流動負債	13,842,934
固定資産	155,558,754	固定負債	70,259,382
		負債合計	84,102,316
		純資産の部	
		基本金	1,000,000
		基金	66,036,003
		国庫補助金等特別積立金	332,385
		その他の積立金	26,637,386
		次期繰越活動増減差額	3,977,158
		純資産合計	97,982,932
資産合計	182,085,248	負債・純資産合計	182,085,248

善意の寄付

4月

- ・渡邊会計事務所 様 50,000円
- ・匿名 様 100,000円
- ・JUNCTION HAIR GALLERYスタッフ一同 様
..... 8,888円

ありがとうございました!!

5月

- ・角 恵子 様 30,000円
- ・松原4西自治会 様 アルファー米20点
- ・清水 寿三枝 様 オムツ5袋
- ・JUNCTION HAIR GALLERYスタッフ一同 様
..... 8,888円

えんぴやクラブ通信

「卯ノ木クラブの歩みと活動」

「明るく、楽しく、元気よく」をモットーに我々のクラブは昭和54年4月より活動を開始し、46年の歴史を経て現在に至っております。

会の目的としては

1. 会員相互の親睦、高齢者福祉の増進
2. 共助の精神をもって地域社会に貢献
3. 研修などを通して教養の向上に努めること

これらを通して日々たゆまぬ努力を以って活動しております。

平均年齢83.5歳の方々が、新橋小学校児童の下校時見守り、渡良瀬遊水地水地クリーン作戦への参加、交通安全実戦コンクールへの参加、ホープ館内の表・裏庭の清掃作業、松原東・西自治会内の道路清掃及び美化作業等各ボランティア活動に取り組んでいるクラブです。



.....卯ノ木クラブ 会長 伴 光夫



生活支援体制整備事業では、高齢者をはじめとするすべてのひとが地域とのつながりや生きがいを持ちながら暮らしていけるよう、さまざまな活動の支援をしていきます。

この「みつけた!地域のつながり」のコーナーでは、地域等における個人や団体等の実際の活動事例をシリーズでご紹介し、地域にある支えあい活動の輪を広げていきたいと思ひます。

わたしの人生 音楽とともに ギター演奏 富岡幸男 さん

富岡幸男さんは中学生の頃、自作の真空管ラジオやアンプを組み立てたりする趣味をもっていました。ラジオから流れる音楽に耳を奪われ、自分もこんな風に楽器を演奏できたらと、独学で楽器演奏のために音楽の勉強をされたそうです。「学生時代は音楽の成績は良くなかった」とは本人の弁ではありますが、努力の甲斐あり譜面も読めるようになり、楽器演奏もいろいろできるように。

ギター演奏のイメージが強い富岡さんですが、会社員時代はジャズバンドを組んでトロンボーン奏者として都内のホテル等で活躍したそう。50歳を超え、定年前からこれからの自分の人生を考え、ソフトランディングへ向けていろいろな活動を始めました。

野木町や古河市の音楽発表会や文化祭などにも参加。そこで知り合った仲間と演奏を楽しみ、高齢者施設やいきいきサロンなどを訪問し演奏を披露。さらに「大人のためのピアノ教室」の生徒となってピアノを習ったりもしました。

このところは、野木町総合サポートセンターひまわり館で開かれるプチコンサートに古河市のウクレレサークルのメンバーのギター伴奏演奏者として参加。音楽を通して、皆さんと一緒に楽しめるように心掛けている様子です。

富岡さんは、もうすぐ80歳。今も毎日最低30分はギターの練習を欠かさないそう。

いつも音楽に囲まれ、いくつになっても自分が楽しいと思うことが続けられ、皆が喜んでくれる。こんな素晴らしいことはないと思ひます。



地域ふくし座談会参加者募集

地域ふくし座談会は、みなさんがふだん感じている「地域のちょっと困っていること」や「こうなったらいいなあ」という思いを、みんなで話し合っ、これからの地域づくりに活かしていくための場です。

たとえば「最近、ご近所とのつながりが減ってきたな」「ひとり暮らしの方にどこまで声をかけていいのかな」地域で気になっていることを、みなさんでおしゃべりしませんか？ご参加お待ちしております。



【内容】 ①第2期 野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画について

②脳トレゲームを体験

③みんなで地域のこと、話し合ってみよう！

【日時】 令和7年7月30日(水) 10:00～正午(野木第二中学校区の方が対象)

8月27日(水) 10:00～正午(野木中学校区の方が対象)

【場所】 野木町老人福祉センター(ホープ館)

【参加対象者】 それぞれの学校区にお住まいの方 各30名程度

【受付期間・申込方法】 開催日の2週間前までに電話又はメールにて申込をお願いします。

その際、①氏名 ②住所 ③連絡先をお伝えください。

野木町社会福祉協議会 電話 57-3100

(平日8:30～17:15 土日祝日は除く)

メール nogishafuku.31@joy.ocn.ne.jp



みなさんの活動を 社協情報誌ぽけっとに 載せませんか??

野木町老人福祉センターでは、日々さまざまな団体の皆さんが、元気に楽しく活動されています。



次号からこちらのコーナーで、野木町で活動する皆さんの様子を掲載することになりました♪

「うちのサークルも載せてみようかな？」

「こんな活動してるよって知ってほしいな」

「新しい仲間を募集したい！」

「発表の場に来てほしい！」

などなど

そんな声をお待ちしています。

まずはお気軽にご相談ください♪



お問合せ・申込

野木町社会福祉協議会 TEL:57-3100

簡単! 身体年齢テスト

片足立ちテスト

やり方…

両手を腰に当てて片方の足で立ち、時間を測定する。手が腰から離れる、挙げていた足が軸足に触れたり、床に着いた場合は終了とする。

年齢別平均

65～69歳 :40.8秒

70～74歳 :32.5秒

75～79歳 :25.5秒

80歳～ :16.2秒



片足立ちを鍛えることでバランス能力や活動量が改善し、転倒予防や認知症予防、骨粗鬆症の予防にも効果があります。

1分間ずつ、一日に3回、左右で計6回行くと、太ももの付け根は両足で50分ほど歩いたのと同じ効果があります。

転倒が心配な方はテーブルなどに掴まったままの練習でも大丈夫です。

令和7年度 野木町社会福祉ボランティア連絡協議会 全体会／全体研修会

4月19日、町老人福祉センター(ホープ館)に48名の町のボランティア仲間が集い、町社会福祉ボランティア連絡協議会の全体会・全体研修会が行われました。全体会では、萩原紀男会長より令和6年度の1年間の活動が報告され、令和7年度の事業計画と会長に就任された同会長をはじめ新役員が紹介され承認されました。

(全体研修会)ボランティア取材レポート 走辺 寿美子

「災害時の上手な薬の使い方」講師：ピノキオ薬局 江波戸 美典氏

災害国日本、いつどこで災害が起きるかわかりません。災害直後は救命救急が優先され、慢性疾患などの通常診療は後になるのは必然的。そして、避難生活が続くと、手持ちの薬がなくなり、病院、薬局の薬の備蓄がなくなります。講演の冒頭、講師の江波戸氏は「災害時には医療機関や薬局が機能しない可能性が大きいので、事前の準備が命を左右します」と強調しました。そして、「みなさん、ご自分が常時飲んでいる薬の種類や名前が言えますか?」「薬の備蓄をしていますか?」と、問いかけました。

以下は、江波戸氏が話された「事前準備」をまとめたものです。

①常備薬を数日分持ち出せるようにしておくこと。

いつも飲んでいる薬(処方薬)は3～7日分程度備蓄しておくが良い。ただし、常に新しい薬に交換しておきましょう!

特に、薬の服用が命に係わるような場合は必ず備蓄し、持ち出せるように!

(例)糖尿病でインスリン注射を行っている場合など。

②お薬手帳やマイナンバーカードを携帯しておくこと。

現在服用している薬の名前や副作用歴、アレルギー歴などがわかります。

③救急セットを作っておくこと。

怪我対策、皮膚トラブル、感染症、下剤などの市販薬を準備しておくが良い。

④薬をもらう手段があることを知っておくこと。

地域の薬局が被災した場合、救護所、避難救護センター、モバイルファーマシー(災害時に医薬品を搭載して出動し、被災地で簡易的な薬局の役割をする移動薬局車)などで、薬を受け取ることができます。なお、お薬手帳がない場合、日本赤十字社の救護班などが発行する**災害処方箋**があります。

以上

プロジェクタースクリーンを駆使し、災害時に命を守るための薬の管理や使用方法について説明された今日の講演。実践的なアドバイスが共有され、会場では熱心にメモをとる人もいて、真剣さが伝わってきました。「私は高血圧で薬を飲んでいるので心配です。災害時に備えようと心がけます」「高齢の母のことを思い参加しました」等の意見が聞けました。

さて、みなさんは災害時の薬の管理は大丈夫ですか? 備えあれば患いなし……さあ、今から準備しましょう!



『ふれあい福祉総合相談』のお知らせ

野木町社会福祉協議会では、日頃から抱えているいろいろな悩みや問題について、相談に応じられるように「ふれあい福祉総合相談」を開設しています。

相談種別	日時	内容	相談員	問い合わせ先
心配ごと相談	毎月第1水曜日 午前10時～正午	日頃の悩みなど 日常生活について	民生児童委員 保護司 人権擁護委員	野木町社会福祉協議会 (野木町老人福祉センター内) ☎57-3100
法律(弁護士)相談	毎月第3木曜日 午前10時～正午 (要予約・問い合わせ先まで ご連絡ください。)	財産・扶養・土地・金銭貸借・ 賠償・離婚などの問題に 関する相談 (原則として、令和7年度内に 1人2回までとします。)	弁護士	
ボランティア相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	ボランティア保険の加入や 社会福祉支援活動に 関する相談のある方	社協職員	
生活資金・ 地域福祉権利擁護相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	生活資金や日常金銭管理に 心配のある方	社協職員	
介護相談	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	介護に関する相談のある方	地域包括支援 センター職員	

●いずれの相談も無料です。秘密は厳守いたします。



おれんじカフェ



「おれんじカフェ」とは、認知症の方やその介護をされている方、認知症に関心がある方など、誰でも気軽に利用できる憩いの場です。認知症に関すること、日頃の悩みや思いなどをみんなで共有してみませんか？



●日時・場所・内容について

日時	場所	内容
8月18日(月) 午後2時～3時30分	ひまわり館 (町総合サポートセンター)	福祉用具について
9月18日(木) 午後2時～3時30分	ひまわり館 (町総合サポートセンター)	音楽療法



※事前申し込み不要で出入り自由です。

<問合せ先> 野木町役場 健康福祉課 高齢対策係 ☎ 57-4173



エンディングノート「結び帳」を配布します。

このノートは、高齢者等の皆さまが人生を振り返り、ご自身の情報や希望等をまとめ、残しておくものです。

これからもご自身らしく過ごしていく証しを記してみませんか。ご希望の方は右記よりお申し

出ください。



(A4サイズ 全40ページ)

- 無料配布
- 配布場所・お問合せ先(平日の8:30～17:15)

野木町地域包括支援センター

- ①本センター ☎ 57-2400
(町総合サポートセンターひまわり館内)
- ②サブセンター ☎ 23-2200
(町老人福祉センター内) 又は ☎ 57-3100

夏のボランティアサマースクール 参加者募集!!

夏休みを楽しく、
特別な体験をしよう!

小学生ボランティアチャレンジスクール

7月23日(水)9:00~15:30
「手話・点字・朗読」体験
「車いす・アイマスク・片まひ」体験

7月24日(木)10:00~16:00
盲導犬について講話・歩行体験
ボッチャ体験

場 所 ホープ館(町老人福祉センター)

参加者 町内在住の小学3年生~6年生

募集人数 20名 ※定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。
両日参加できる方を優先させていただきます。

参加費 1,000円(昼食代含む・参加当日にお支払いください。)

申込方法 QRコードから申込み、または申込用紙を直接窓口(ホープ館)に持参ください。
用紙は社協HPからダウンロード、またはホープ館にあります。

申込期間 令和7年7月1日(火)~11日(金)

※詳細は7月17日(木)ごろお知らせします。

終了後、17時までは会場を開放しています。夏休みの課題などをやってもOK!



申込み



ボランティアサマースクール

福祉施設体験をしよう!

日 時	場 所	内 容
8月18日(月) 9:00~15:30	ホープ館	・オリエンテーション ・福祉講座(手話、点字、朗読) ・ハンディキャップ体験 (車いす体験、アイマスク体験、片麻痺体験)
8月19日(火) 9:00~16:00	○介護老人保健施設ひまわり荘(高齢分野)	行きたい施設を選択 ※1施設に限らず、複数施設での体験可能
8月20日(水) 9:00~16:00	○新橋児童館(児童分野)	
8月21日(木) 9:00~16:00	○社会福祉法人パステル(障がい分野)	
8月22日(金) 9:00~12:00	ホープ館	福祉用具体験会・ふりかえり・閉講式

対象者 中学・高校・大学生、短大生、専門学校生

募集人数 20名 ※定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。

参加費 無料※昼食各自持参

申込み方法 QRコードから申込み、または申込用紙を直接窓口(ホープ館)に持参ください。
用紙は社協HPからダウンロード、またはホープ館にあります。

申込期間 令和7年7月1日(火)~11日(金)

※詳細は7月末ごろお知らせします。8/19~21は1日以上ご参加ください。



申込み



主催・問合せ先：野木町社会福祉協議会(町老人福祉センターホープ館内) TEL:57-3100 FAX:57-3101